

「Try で Let's Enjoy Q&A」の使い方

佐賀県吉野ヶ里町立東脊振中学校教諭 吉田 喜美子

みなさん、こんにちは。先生方が担当されている生徒さんたちは、決められたテーマについて「話すこと(やりとり)」ができていますでしょうか？「大丈夫！ できています」という先生もおられれば、「なかなか難しいです」という先生もおられることでしょう。

SUNSHINE ENGLISH COURSE では、テーマについて短時間で即興的な「話す」活動を行うために、各 PROGRAM に 2~3 つずつ「Try」を設けています。「Try」は、「小学校やちょっと前に学んだ英語の表現を対話で使うことで、思い出したり、使えるようになったりする」ことを目指しています。先生方の中には、「本課で学んだ文法の練習」と思われている方もおられるかもしれません。しかし、「Try」では、あえて学びたての文型ではなく、学んで少し時間を置いた(寝かせておいた)文型であったり、文型にこだわらず自分の考えや意見を述べる表現であったりを、生徒さんたち自身が考えて、選んで使っていくことを目指しています(なお、*SUNSHINE* では各 Scenes で扱う新文型について、「Speak & Write」と「Interact」の活動を通して身につけられように設定しています)。また、教科書の巻末資料の折り込みページには「Try」を行う際に生徒が参考にできる資料として、「Try のまとめ」(対話で使える表現例)と「トピック一覧」があります。

対話例「Try で Let's Enjoy Q&A」は、「Try」をフリートークで行うことが難しい場合、先生方のご指導の補助になればと考え、準備しました。この対話例には、似たような表現が何度も出てきます。一つ目のねらいは、日本語による説明をできるだけ省くことです。二つ目のねらいは、自分の考えや意見を述べる表現に慣れて、対話例に頼らなくてもだんだん話すことができるようになっていくことです。

おすすめの使い方

- ご使用の際は、**必ず、生徒さんたちの実態に合わせて、カスタマイズして使用してください。**
- 帯学習のペアトークでコツコツお使いください。授業の冒頭に対話活動の習慣付けをお勧めします。
- 1つのTryを2～3回扱うのがおすすめです。
 - ◆ 1回目:導入と音読練習, ペアトーク
 - ◆ 2回目:1回目とは違う相手とペアトーク
 - ◆ 3回目:1回目, 2回目の相手とは違う相手とペアトーク

(3 回目は、対話例に頼らず 1 分間の Tryを継続するよう、励ましてください)

- 2回目, 3回目のペアトークの際、最後の挨拶「Thank you.」の前に、対話の流れに乗ってフリートークをするよう伝えましょう。定型パターンでの対話に続いてフリートークの練習ができます。1年生の時から、本格的なフリートーク(3年生でのディスカッションなど)を成立させるための準備をしていくイメージです。対話の継続では、聞き手側の Repeat / Reaction – Comment – Question がとても重要です。中でも、対話の流れに沿った Question ができることは、Good Communicator としてとても大切です。いつの間にか「話すこと(やりとり)」ができるようになる姿を信じて、活動を積み重ねてください。
- 活動に慣れてきた頃を見計らって、たまには、「Try で Let's Enjoy Q&A」の「中渡し方式(1 回目の対話の後で渡す)」または「あと渡し方式(2 回目・3 回目の対話の後で渡す)」もやってみましょう。「こう言えばよかったのか！」など、教室のあちこちから聞こえるようになります。

➤

【使った先生がたの声より】

- ✚ 1 分間トークが無理なくできるようになりました。
- ✚ 文例は一見難しそうに見えますが、生徒たちはすんなり理解して、対話を楽しんでいます。
- ✚ 「習うより慣れよ」を実感しています。
- ✚ 「Try で Let's Enjoy Q&A」を使うと、部分的にですが、生徒たちが自由に言葉を選んで対話をするこ
とができるので、考えながら対話をしている様子が見られるようになりました。時々、以前使用して
いた対話例文集を使うことがありますが、生徒たちの様子は、「Try で Let's Enjoy Q&A」の方が、楽

しそうです。

- ✚ 文例に示していない表現を自分で検索して使う生徒が出てきて、驚きました。特にコメントでは、相手の話の流れに応じた表現「Go for it. がんばってね」などを使う生徒がいて、感動しています。
- ✚ 3年生の3学期に、テーマに沿ったフリートークをグループで行いました。うまく対話が成立するか心配していましたが、杞憂に終わりました。Tryの継続のおかげです。